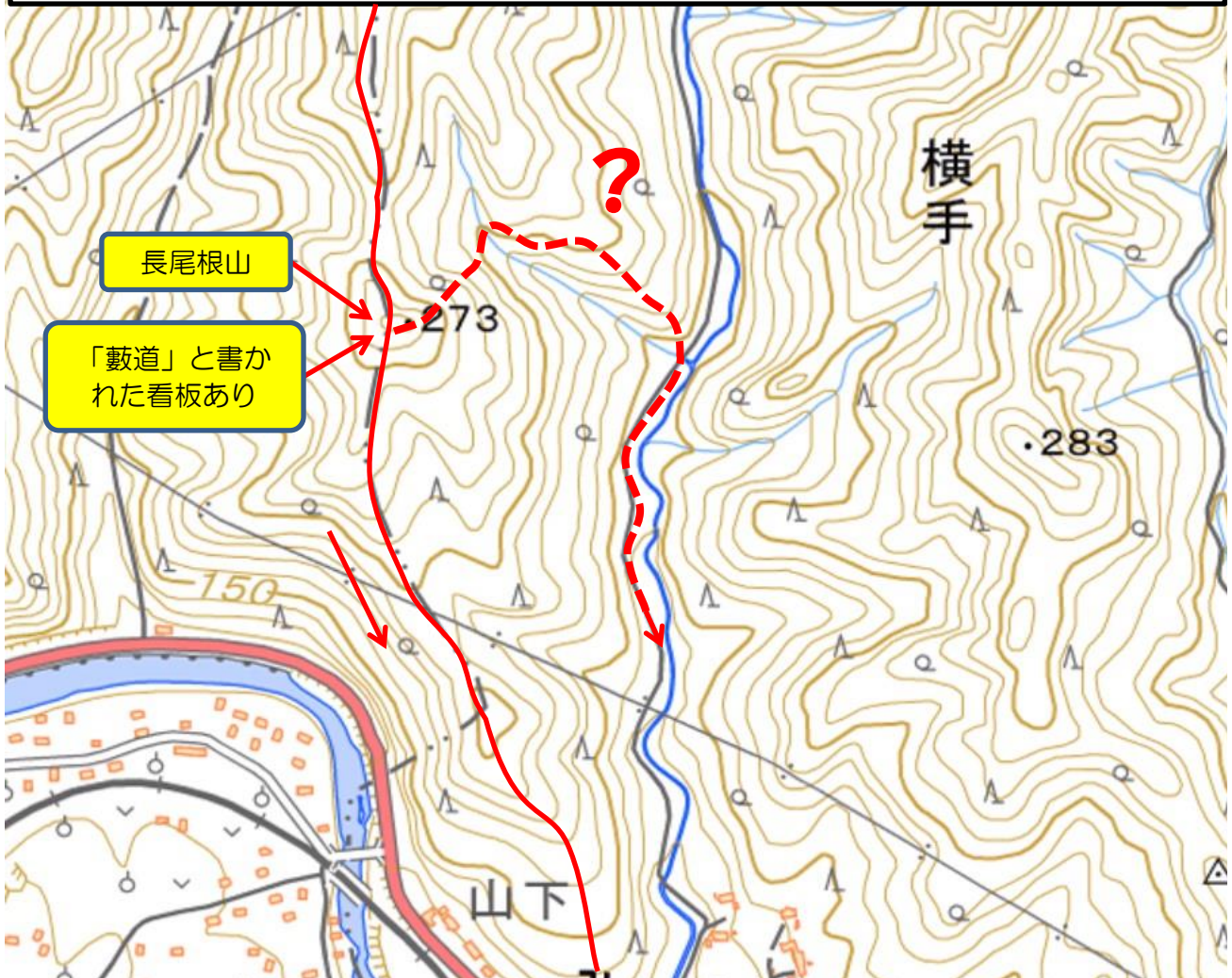


## 物見山道迷い(2020年1月)

「藪道」と書かれた看板があり、GPSも確かめずに東の方向に進む。途中道が無くなったが土地勘もあったので、そのまま進み林道に出た。



## 解説

長尾根から、何を思ったか、GPSも地図も確認せずに表示にある「藪道」と書かれている東の方向へ下り始めてしまったのです。初めはやや道らしき物がありましたが、やがて無くなってしまいました。GPSで確認すると、本来の下山道はかなり南側にあります。完全に道迷いです。少し登り返して下山道へ藪漕ぎをすることも考えましたが、赤いリボンの目印(多分林業作業用かな)もあるのでそれを辿って沢までおりました。

足場が悪く、滑ったり、倒れたりもしましたが、地元で土地勘もあるのでどの方向へ進めばどのあたりに出られるかはだいたいわかります。なので慌てはしませんでした。

沢まで下りて、それを跨いで、もう一本東側の尾根へ登り返しました。尾根の上には道がありそうです。足場の悪いところを登り返すと、思った通り、道らしき跡があります。それをたどって、尾根の西側を走る関ノ入林道へ出ました。(HP参照)

看板を見て、予定のルートを変更し、道迷いになるケースは多い。里山で少しの道迷いで済んだが、大きな山で急なルート変更を行うと遭難に至る場合がある。何を思ったのか衝動的にコースを変更してしまう。道迷いの不思議である。気を付けたい。